

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 28 年 11 月 10 日 (木)

地区 明野小学校区

会場 小俣北部公民館

参加者数 13 人



《質問・意見》

まちづくり協議会の補助金について、毎年 60 万円くらい返還している。活発な活動がみえない。小俣はモデル地区ということで小俣、明野がひとつになっているが、それだけに動きが鈍い。事業にしてもまず計画を出させて、市でチェックをする。それに見合った補助金を使い活性化していくのがよい。

《回答》【市長】

まち協は去年 23 の小学校区で設立されたが、来年度からは補助制度についても一律ではなく、申請主義での方向性も議論を進めているところです。子供達の教育をやりたい、防災をやりたい、農業振興をやりたいなど、まち協のなかで活発な議論を重ねていただき、また地域でも分科会を作ってやっていくなど、考えてもらえればと思います。

《質問・意見》

健幸ポイント事業について、以前三重国体のあった昭和 49 年に、ウォーキングを続け日本一周分したら得点を、っていう事業があったが、そういうポイント制なのか。

大仏山公園について、グラウンドの周りの通路の舗装が剥げ、小石がむき出しになって危ない。県営陸上競技場のサブグラウンドで赤い舗装を剥いでいるが、それを使うのはどうか。

《回答》【市長】

健幸ポイント事業は HP 上でポイントをためていって、500 ポイントたまったら 500 円の商品券がもらえる、とかそういうものです。ほかにも公民館で体操をしたらポイントとか、そんなことも考えていきたい。

大仏山公園については一度聞いてみます。

《質問・意見》

5年くらい前に小俣総合支所の紹介で、県が大仏山の土地の件で調査協力してほしい、ということでアンケートや聞き取り調査があった。データを頂くことを条件に協力したがいまだに返事がない。返事をくれというのではないが、大仏山の土地の有効利用について、県と関係市町とが協力して前進させてほしい。

《回答》【市長】

土地の問題は価格のこともあり難しい、県とは話し合いを続けていきます。

《質問・意見》

前回、市長との懇談会の場で、市が伊勢神宮の内宮に車椅子を15台、寄付をしたと伺った。その時に、玉砂利が大きく車椅子を押す方も苦労している、と申し上げた。市長は神宮に話しておきます、ということだったが、数か月後参拝したら砂利が小さくなり、押しやすくなっていた。お礼を申し上げる。

行政相談委員をしているが、二見町の図書室に子供達あまり行かない、なんとかしてほしいという相談を受けた。実際に行ってみたが場所も狭く、あまり魅力がなく気の毒。伊勢や小俣の図書館のようにしてほしい。

《回答》【市長】

車椅子の件については、市のみならず、皇學館大学の学生がボランティアで尽力いただき、ありがたく思っています。これからも充実していきたいと考えています。

図書館については、小中学校の学校図書の実を図っており、図書館司書を付け、貸し出しのほうも含め、いままでなかったことをやっているところです。学校図書と見比べながらやっていきたい。

《質問・意見》

津波の避難所について、階段ばかりでスロープがない。健常者中心ではないか。

伊勢病院について、地盤はしっかりしているのか。なぜもっと御幸道路ぎりぎりに建てなかったのか。

支所の職員が減って嘱託職員になっている。カウンターである程度話をして、わからなくなると正規職員に代わるということが多い。

《回答》【市長】

スロープだと長距離で上らないといけない。健常者2人で1人を背負う器具があり、それで階段を上っていただきます。地域で訓練を重ねてスムーズに非難できるようにしていきたいと考えています。

伊勢病院建設予定地について、地盤については土壌改良し、杭も打っているところです。

職員については、合併後人件費を抑えるためにやってきました。総合支所長と共に頑張

ります。

《質問・意見》

民生委員をしているが、雇用促進住宅について、不用心なため塀などをしていただいた。現状はどうなっているか。

《回答》【小俣総合支所長】

知る範囲では一括して民間に売却したと聞いています。また情報が入ればお知らせします。

《質問・意見》

明野の市営住宅について、防犯のこともあり入居者を増やしてほしい。集会所について、水道、ガス、トイレがなく不便、対応してほしい。

《回答》【市長】

わかりました、対応します。

《質問・意見》

防災関係の放送で、先に市の放送が流れ、10分後にコミュニティー放送が流れる。緊急時には遅れて大丈夫なのか。

《回答》【市長】

状況を確認します。